

3.布製マスク配布事業の実施状況等（特定）

検査の 背景

- ✓ **布製マスク配布事業は、**
政府が令和2年2月以降に定めた「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」等に基づく措置として、マスク等の品薄状態に対処するために**再利用可能な布製マスクを国が一括して購入し、配布する事業**
- ✓ 布製マスク配布事業を配布対象別に整理すると、
厚生労働省：国内の全世帯への布製マスクの配布事業（全戸向け配布事業）、
介護施設等の利用者及び職員への布製マスクの配布事業（介護施設等向け配布事業）、
妊婦への布製マスクの配布事業（妊婦向け配布事業）
文部科学省：学校の児童生徒及び教職員への布製マスクの配布事業（学校向け配布事業）
- ✓ 厚生労働省は、妊婦向け配布事業において、2年4月14日から布製マスクの配布を始めたが、**配布した布製マスクの中に汚れの付着等の問題のあるものが含まれているとの報告**を受けるなどしたため、厚生労働省は同年4月16日頃に、文部科学省は同年4月20日頃に**布製マスクの配布作業を中断**（不良品問題）

検査の 状況

- ✓ **厚生労働、文部科学両省は、2年3月から6月までの間に、布製マスクの調達契約を計442億6338万円（計3億1811万枚）で締結**
需給がひっ迫するマスクを大量かつ早期に確保するためなど、緊急であることを理由に全て随意契約
- ✓ **厚生労働省は仕様書を作成しておらず、布製マスクの大きさ、品質基準等を書類上明確にしていなかった**
文部科学省は仕様書を作成していたが、ホルムアルデヒドが検出基準以下であることしか示していなかった
- ✓ **不良品問題**に関して、厚生労働省では、妊婦向け布製マスクの状況について、配布した49万枚のうち6万枚（12.5%）が髪の毛の混入等の不良品と疑われるものとして635市町村から報告
- ✓ 厚生労働、文部科学両省は、布製マスクの調達契約の締結に当たり、**不良品が発生した場合の措置について定めるなどしていなかったため、事後的な不良品対応を行う必要が生じた**
- ✓ **厚生労働省は、令和3年3月末現在で、計8272万枚の布製マスクを在庫として保管**
2年8月から3年3月までの間の保管（含 配送）費用 6億96万円

所見

- ✓ マスク等の衛生用品の今後の調達については、厚生労働、文部科学両省は、
 - ・ **緊急時であっても、公的規格等を準用するなどして、品質基準等を明確に定めた仕様書を作成**
 - ・ 契約の締結に当たり、契約条項で**不良品が発生した場合の措置について定める**など
- ✓ 布製マスクの在庫について、厚生労働省は、その有効活用を図って保管等費用の節減に努めつつ、**売払い、譲与等も考慮に入れた対応を検討**

3.布製マスク配布事業の実施状況等（特定）

布製マスク配布事業の概要

事業名	所管	配布対象	予定配布時期	当初予定配布枚数	配布方法
全戸向け配布事業	厚生労働省	国内の全世帯	令和2年4月中旬から5月末まで	1住所当たり2枚	各世帯に直接配布
介護施設等向け配布事業		介護施設等の利用者・職員	2年3月末	1人につき1枚	原則として介護施設等に配布 介護施設等が利用者・職員に配布
			2年4月から9月まで	1人につき1月当たり1枚	
妊婦向け配布事業		妊婦	2年4月から9月まで	1人につき1月当たり2枚	原則として市町村に配布 市町村が妊婦に配布
学校向け配布事業	文部科学省	学校の児童生徒・教職員	2年4月中と5月以降の2回	1人につき1回当たり1枚	原則として学校に配布 学校が児童生徒・教職員に配布

検査の状況

【調達契約】

<厚生労働省> 17社、支払額**399億7849万円（2億8741万枚）**

<文部科学省> 3社、同 **42億8488万円（3070万枚）**

需給がひっ迫するマスクを大量かつ早期に確保するためなど緊急であることから、**全て随意契約**

→統計資料による**家庭用マスクの生産量及び在庫量の状況**からすると、当時マスクの需給がひっ迫していた状況が見受けられた

【マスク1枚当たりの平均単価】

契約時期	支払額の計	調達枚数の計	1枚当たりの平均単価
	(円)	(枚)	(円/枚)
	A	B	A/B
令和2年3月	31億3555万	2219万	141.24
4月	143億0335万	1億0065万	142.10
5月	184億4772万	1億3404万	137.62
6月	83億7674万	6122万	136.81
計	442億6338万	3億1811万	139.14



3.布製マスク配布事業の実施状況等（特定）

検査の状況①

【布製マスクの調達契約に係る仕様等】

- ・厚生労働省：
仕様書を作成しておらず、布製マスクの大きさ、品質基準等を書類上明確にしていなかった
 - ・文部科学省：
仕様書を作成していたが、ホルムアルデヒドが検出基準以下であることしか示していなかった
- ➡厚生労働省は、事前に業者から提出させたサンプルに基づき9.5cm×13.5cmの大きさが妥当と判断し調達
→平型の布製マスクは、主に家庭用として販売されており、大人用の多くは9.5cm×13.5cmの大きさであった

所見①

厚生労働、文部科学両省は、マスク等の衛生用品について、衛生上、その品質基準を明確に定めて調達する必要があることから、緊急時であっても、公的規格等を準用するなどして、**品質基準等を明確に定めた仕様書を作成**

検査の状況②

【不良品問題発生後の検品等契約】

- ・厚生労働省は、妊婦向け布製マスクの状況について、配布した49万枚のうち6万枚（12.5%）が、髪の毛の混入等の不良品と疑われるものとして635市町村から報告を受け、配布を一時中断、回収
- ・厚生労働、文部科学両省は、**納入業者による検品とは別に、2年4月に検品等業務に係る契約を（株）宮岡と締結（費用計7億75万円）**
- ・厚生労働省：良品とならなかった1089万枚のうち168万枚
文部科学省：良品とならなかった18万枚のうち8,223枚
→**納入業者の負担において補修、交換等を行わせることができなかった**
- ・なお、両省と興和（株）の布製マスクの調達契約について、納入後の瑕疵担保責任を追及しないことを同社が申出
→両省は、迅速に布製マスクを調達することを優先するとして、当該申出を了解
→両省によれば、同社が納入した布製マスクで発生した不良品の中には、隠れた瑕疵に該当するものなどはなく、全て同社の負担において交換等の対応が執られた

所見②

厚生労働、文部科学両省は、**契約の締結に当たり、不良品が発生した場合には納入業者の責任と費用負担により補修、交換その他必要な措置を講ずるなど、契約条項の中で、不良品が発生した場合の措置について定めるなど**

3.布製マスク配布事業の実施状況等（特定）

検査の状況③

【布製マスクの調達枚数、在庫数等】

所管	事業名	調達枚数（枚）	在庫数（枚） 令和3年3月31日現在	配布及び保管の状況
厚生労働省	全戸向け配布事業	1億3004万	405万	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月17日から6月20日までの間に1億2183万枚配布等 空き家と確認できた箇所には配布しないなど →405万枚を在庫として保管
	介護施設等向け配布事業	1億5736万	7866万	<ul style="list-style-type: none"> 2年3月26日から5月31日までの間等、2回に分けて計6062万枚配布 2年7月頃、マスクの流通がおおむね回復してきているとの関係団体等へのヒアリングを踏まえて、同年7月末に一律配布を取りやめ 同年8月から3年3月までの間に配布希望の介護施設等のみに計1049万枚配布 →希望が少なかったことから在庫が発生
	妊婦向け配布事業			<ul style="list-style-type: none"> 1回目（2年4月14日から4月30日までの間）として49万枚配布 2回目から4回目までの配布は、市町村から必要枚数を報告させた上で、希望する枚数を原則配布とし、計639万枚配布 →希望が少なかったことから在庫が発生
	計	2億8741万	8272万	
文部科学省	学校向け配布事業	3070万	約8000	<ul style="list-style-type: none"> 2年4月11日から6月15日までの間等、2回に分けて計3072万枚配布等 （宛先不明で返送されたものは別の学校に配布等）

- 厚生労働省分として、計**8272万枚**の在庫が発生（調達した2億8741万枚に占める割合28.7%）
- 同省が、2年8月から3年3月までの間に在庫を保管するための**保管（含 配送）費用 計6億96万円**

物品の管理

物品管理法

- 供用及び処分をすることができない物品については、不用の決定の上、売払いなどが可能

物品の無償貸付及び譲与等に関する法律

- 生活必需品、医薬品、衛生材料及びその他の救いづつ品を災害による被害者その他の者で応急救助を要するものに対し譲渡するときなどは、物品を国以外のものに譲与可能

所見③

布製マスクの在庫について、厚生労働省は、その有効活用を図って保管等費用の節減に努めつつ、**売払い、譲与等も考慮に入れた対応を検討**